

インドネシア



インドネシアは、ギリシャ語の「インドス (indos)」と「ネソス (nesos)」という二つの単語から成っており、“東インドの島々”という意味を持つ。

世界最大の島嶼国家であり、主要な5島と中規模な群島を含めた約17,000以上の島々から成り立ち、そのうちの9,000の島々に約2億2千8百万人もの人々が暮らし、約490の民族集団がそれぞれの多様な民族文化を継承している。

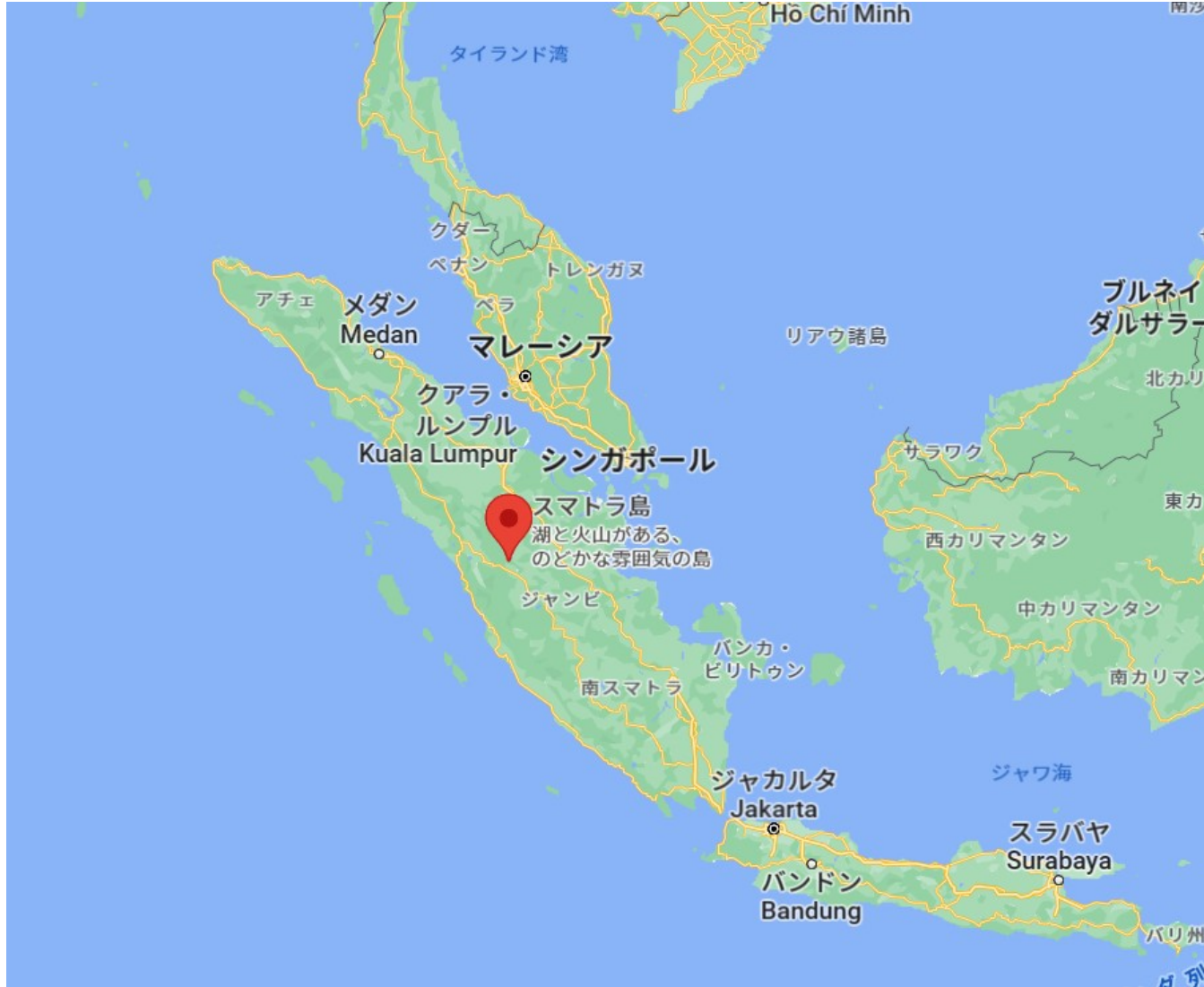


およそ300以上もの異なる民族がともに暮らす民族的多様性を持つ国はインドネシアに匹敵する国はない。人々の習慣・伝統文化も風土も、自然環境も多種多様であり、ひとたび海を越えて違う島へ渡ればまるでそこは違う国かと感じてしまう。それがインドネシアを訪れる人にとっての最大の魅力だ。

インドネシアの概要

- 面積：約1,904,443平方キロ、人口：約2億3千9百万人（2010年）
- 政体：共和制、
- 首都：ジャカルタ（J a k a r t a）（人口約854万人）－インドネシアの政治・経済・文化の中心地である特別市として州と同等の地位にある。オランダ支配下ではバタビア（Batavia）と呼ばれていたが、1942年ジャカルタと改名された。
- 宗教：憲法は信仰の自由を認めており、これは国家五原則（パンチャシラ/Pancasila）の第一原則に“全能の神への信仰”として明記されている。人口の87%はイスラム教徒、キリスト教徒11%、その他仏教は1%、ヒンドゥー教徒は1%に満たないとされている。
- 言語：国語はインドネシア語。これはマレー語に近い言語で独立後国語として定められた。しかし、インドネシア各地では今でもその地域の言語（バタック語、スンダ語、ジャワ語、バリ語など）が使われており、583種以上の言葉がある。

(第1回) スマトラ島



インドネシアの西端に位置するスマトラ島。

豊かに茂る熱帯雨林、珍しい動植物、それぞれに伝統のある多民族、きらめく白い砂浜と壮大な火山…。多彩な魅力が、訪れる人を楽しませてくれます。

人口：約5,000万人

面積：約47万4000平方キロ

宗教：大多数がイスラム教徒

民族：マライ人（東部と南部）

ミナンカバウ人（西スマトラ）

アチェ人（北部）

バタツ人（トバ湖を中心とする一帯）

スマトラ島 Sumatera



古くからミナンカバウ文化の中心として栄え、周囲には豊かな自然が広がる高原の街。

緑豊かな景観と、**水牛の形をした屋根を有する素晴らしい彫刻を施した木造家屋**があり、中には、築300年以上のものもある。

ミナンカバウの種族は、敬虔なイスラム教徒で、女性が日常生活で中心的な役割を演じている。

マイムーン王宮



マイムーン王宮は19世紀にメダン周辺を統治していたスルタン王、マクムン・アルラシッが1888年に建設したもの。

宮殿の庭は緑豊かで美しく、まるで映画などに出てくるお城のようです。

さらにこの宮殿、実は現在でもスルタン王の子孫の方が住んでいるんだとか。

宮殿の一部は観光客にも公開され、中を見学することができます。

内部も細かい装飾がほどこされており、扉や壁の装飾ひとつひとつが芸術的に作りこまれているのには驚かされるでしょう。

スルタン王の使った豪華な玉座や寝具、高価な芸術品、メダンの歴史を物語る品など、興味深い見学ができます。

さらに、当時の衣装を着ての記念撮影もできるので、ぜひメダンに訪れた際は足を延ばして欲しい観光スポットのひとつです。

マスジット・ラヤ （モスク）

[Dinas Kebudayaan Pemerintah Kota Medan - Google
マップ](#)



マスジット・ラヤは1906年に建てられた100年以上の歴史があるイスラム教のモスク。このモスクもマイムーン王宮と同様、スルタン王によって建設された。

そこは、メダンに住むイスラム教徒たちの信仰の中心であると同時に、メダン観光のランドマーク的な存在だ。

モスクの中へは、イスラム教徒以外の観光客でも入ることが可能。・見学の歳には短パンやミニスカートでの入場はできない。

グラハ・マリア・アンナイ・ベランカニ教会

[グラハ・マリア・アンナイヴェランガンニ - Google マップ](#)



この教会はインドのムガル建築で建てられ、教会を囲む壁には様々な人種の彫刻が施されている。これらは信仰や文化は関係なく、誰でも受け入れるという意味を持っている。中には、白を基調とした礼拝堂がある。あちこちに施されている装飾や彫刻は見ごたえがある。

[Bukit Burung - Google マップ](#)



トバ湖

東南アジア最大の湖。7万5千年前の火山噴火により出来、湖の最深部は、450m以上の深さになります。断崖、丘陵、瀑布などすばらしい景観に取り囲まれており、周辺に住むバタク族はさまざまに彩色した船の形の木造住宅に居住しています。

Jl. Lkr. Tuktuk - Google マップ



島内観光の中心はトゥ
クトゥク

(Tuktuk) ・ トモッ
ク (Tomok) といっ
た島東部の地区

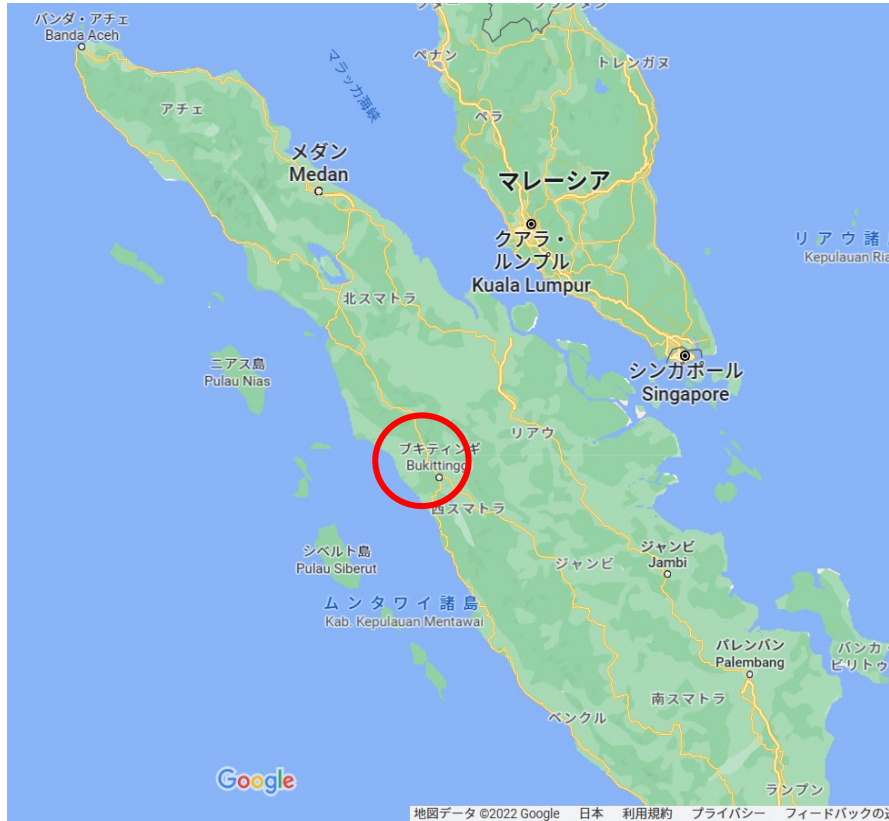


ボラギット滝



ボラギットという滝のある自然公園があります。シボラギットの入口から2時間ほど森の中を進んでいくと見えるのが2つの滝。この滝は地元の人から「**2色の滝**」とよばれていて、ひとつは青色、もうひとつは白色をしています。2色の滝の滝壺では観光客や地元の若者たちが飛び込んだり滝に打たれたり、賑わっている観光スポット。

ブキティンギ, 西スマトラ



- スマトラ島中部の西岸部分を占める西スマトラ州の州都パダンから北へ約90kmの場所、アガム高原の中央部に位置する。
- 町の規模は小さい。標高約900mに位置する**ブキティンギ**の平均気温は約23℃で、秋のような過ごしやすい気候で、まさにインドネシアの避暑地です。
- 周囲をムラピ山、シンガラン山、サゴ山、パサマン山などの山々に囲まれ、西スマトラでも随一と言われる美しい景観をもっているため、植民地時代から多くの観光客が訪れていた。
- 現在でも、世界最大の**母系社会**として知られるミナンカバウ族の伝統的な文化に触れることができるため、外国人観光客が多く訪れている。

ブキティンギ, 西スマトラ



タンジュンティンギ ビーチ (Tanjung Tinggi beach)
(1001beach.com)

Hady Pratama - Google マップ

■ タンジュン・ティンギ・ビーチ



mai.yoshikawa
Tanjung Tinggi Beach

プロフィールを見る



スマトラ島にある火山

メダンとドバ湖の間

[Gunung Sibayak \(Mount Sibayak\) - Google マップ](#)



インターネット世界旅行
2022/12/23 (金)

[インドネシア共和国観光省公式ページ](https://visitindonesia.jp) [インドネシアについて \(visitindonesia.jp\)](https://visitindonesia.jp)

インドネシア (第1回) スマトラ島



おわり
吉岡 芳夫